TEJIMITE OF



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒 803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F Tel 093-592-5000FAX 093-571-4346 北九州市民の会



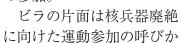


() E

WEB: http://siminnokai.come-mail: koe@siminnokai.com

平和ネットが19日定例街宣

本日7月19日は、平和をあきらめない北九州ネットの定例街宣。最近は小倉駅前と折尾駅前の二ヵ所宣伝にして、小倉駅前には25名、折尾駅前には17名の参加。



け、その裏面は日本と NATO の軍事連携についてのビラ。

スピーチは、だいたいその内容の線に沿ったものだけど、それに自分が思いを寄せていることなどを加えています。

今回初めて分かったのですが、大軍拡反対の署名や核兵器禁止条約批准を求める署名など2~3種類の署名を持って、相手の反応を見ながら「これはどうですか」みたいな感じで、他の署名用紙も差し出しているみたいです。さすがだなー。

しかし、いつ見ても女性が多い。だいたい参加者の6割か7割が女性。新婦人のみなさんや、I(アイ)女性会議のみなさん、いつもありがとうございます。 (竹内俊一氏 FB より)



7月22日午後、 生涯学習センターで 開かれた、北九州憲 法ネット主催の「憲 法連続講座:弁護士 に聞いてみよう!憲 法のはなし」には、 13人の方が参拶の 三輪副座長の挨拶の あと、講師の小野純



司弁護士(小倉南法律事務所)が、優しい口調で話しました。そのあと、 講師への質問も交えて、参加者の自己紹介がなされました。

足が悪く、電動車いすで来た女性は、「日本の憲法は、世界最大の安全保障と思う。障害のある自分がJRにスムーズに乗れるのも憲法があるから」。小倉北区の男性は「笑いは、権力者を笑い飛ばす。この事を大事にしている。小学3年生の孫には、(松元ヒロの)"憲法くん"の様になってほしい」。小倉南から参加した行政書士の方は、「その国の憲法前文があるところは59か国だと言う。中には"神"という言葉が出てくる国もある。今、日本で改憲の風潮が出て来ているが、心配している」等々、多くの発言がなされました。

これらの疑問に答える形で、講師は「日本の憲法は、国家権力を制限し、国民の権利・自由を守る法体制と最初に述べたが、憲法 13 条は、国民一人ひとりが大切だとしている。これは他人も大切ということだ。今、"世界の情勢にマッチしていないので憲法 9 条を無くせ!"という人もいるが、"9 条を無くしたら日本は平和になるのか?平和を求めるには、軍事でなく、別の方向もあるという事を広く知らせることが大切だと思う」とまとめの発言を行い、この日の講座を閉めました。

(野瀬記)

- 8月6日、 核兵器廃絶を訴える

今日は、広島に原爆が投下されて78年の8月6日。14時から小倉駅前で、原爆写真パネルを持って、スピーチと署名活動。広島、長崎の現地に行っていろんな集いに参加して学び、アピールするのもいいし、地元でアピールして核兵器廃絶を訴えることも大切。



小倉は陸軍小倉造兵廠があったので8 月9日の原爆投下の第一目標でした。こ

の地から核兵器廃絶を訴えることは、特別な、重い意味があると思います。 僕らは従来から取り組まれてきたことを継承しつつも、世界の情勢やいろい ろな知識を伝える取り組みも強めていかねばならないなと感じています。

それにしても、今日も暑かった。この2~3日、身体がものすごくだるくて、調子悪かったんです。それに午前中も活動していた方もおりましたんで、1時間の行動としました。 (竹内俊一さんFBより)

核兵器廃絶の緊急行動世界各国の政府に訴え

原水爆禁止世界大会 ヒロシマデー集会

広島に原爆が投下されてから78年となった6日、原水爆禁止2023年世界大会ヒロシマデー集会が広島市内で開かれました。すべての国の指導者に核兵器廃絶にむけた緊急の行動を訴える「広島からすべての国の政府への手紙」を採択。



日本共産党の志位和夫委員長があいさつし、カナダ在住の広島被爆者、サーロー節子さんが訴えました。同日行われた広島市主催の平和記念式典では、松井一実市長が「世界中の指導者は、核抑止論は破綻しているということを直視し、私たちを厳しい現実から理想へと導くための具体的な取り組みを早急に始める必要がある」として、日本政府に一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となるよう求めました。

禁止条約を力に 原水爆禁止世界大会・長崎 開会総会

「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を:人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2023年世界大会・長崎市内で開会総会が7日、長崎市内で開かれました。世界の市民や政府代表、被爆者、反核平和団体の代表らが集まり、核なき世界の実現に向けた取り組みを報告。核兵器禁止条約を力に、核兵器廃絶に向けて連帯を広げようと呼びかけました。



原水爆禁止2023年世界大会・ 長崎の開会総会

高齢者補聴器購入助成制度の創設をめざして懇談

7月26日、平和とくらしを守る北九州市民の会は、高 齢者の補聴器購入助成制度について年金者組合北九州協 議会との懇談を行い8名が参加しました。

市民の会の石田康高代表委員から「第33回幹事会で 当面する市民運動の具体化として、学校給食無償化、高 齢者補聴器購入助成を実現するため幅広い運動を行うこ とを決め、その第一歩として、運動を具体化するための 懇談をお願いしました」とのべました。

高齢者補聴器購入助成制度について①この2年間で35 から 156 自治体に急速に広がっている。②自治体におけ

る難聴高齢者の社会参加に向けた適切な補聴器利用とそ の効果に関する研究がすすめられている。③医師が自治 体へ働きかけ、新潟県では全自治体で実施、などについ て資料説明された。北九州市でも実現へ向けた取り組み を、各区での学習会や耳鼻咽喉科医師との懇談などすす め、市への要請(署名)を強めることを呼びかけました。





学校給食の無償化をめざす会 | ニュース・1号 (2023/1/27) 事務局発行



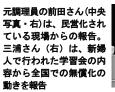
7月8日、八幡西区「子どもの館」で、102名が参加して学習会をおこ ないました。市会議員の永井佑さん、元学校給食調理員の前田由美子さ ん、新婦人八幡東支部の三浦さんが報告しました。会場からもたくさんの 意見をいただきました。

最後に「学校給食の無償化をめざす会」として発足し、運動を広げてい くことを提案し、参加の皆さんの賛同で発足が確認されました。



あいさつ(左) 永井さん(中央写真・ 左)の報告は、パワ ーポイントで分かり やすかった。資料が 欲しいとアンケートに







学校給食の無償化をめざす会、動き始めました!

7月20日、18時から戸畑生涯学習センターにおいて、「めざす会」発足後、初めての事務局会議を開 催。運動の柱や運動の基本などを話し合いました

- Ⅰ(1)自治体の責任で無償化と安全・質の向上を責任を持ってやらせる必要を呼びかける。
- (2)学校給食を通し、子育てや教育に対する市の姿勢・市会議員の見解を明らかにし市民に問うものとする。
- (3)2025年の市会議員選挙の大きな争点にすることも考慮し、市政に興味・関心を 拡げる運動として盛り上げる。
- (4)市の予算は市民の命とくらし最優先に使うべきと呼びかけ、他自治体の例 (国から の地方創生交付金や価格高騰重点支援地方交付金の活用で無償化にしているなど) を伝えながら、北九州市でも無償化できるということを拡げる。



- ①現状では署名はなかなか集まらないが、広く知らせる手立てとして署名を取り組む。
- ② 広範な人に知らせる方法として「メッセージ集め」をおこなう。また、世論を広げていくため「市民ひとり一人 の生の声」を集める。メッセージを寄せてくれた人に「学校給食無償化賛同シール」(仮称)を渡す。
- ③学校給食無償化に関するデーターを「見える化」し、市長や議員に手渡し、検討を促す。
- ④ 北九州市の現状(市のお金の使い方など)を知るプレゼン企画や、他自治体の取り組みを学び、全国の運動の中に | 位置づけて意識化する。

⑤ 給食カフェを開こう!

定期的な交流の場として調理員さんの手も借り開催する。作って食べて、給食・食育の大切さを実感して、 「この給食をさらにおいしく安心安全で無償にしていこう」と呼び掛けながら運動を広げていく。

■ ⑥運動の中心に子育て世代を!

- 小・中学生の子どもを持つ子育て世代が、当事者として無理なく楽しく、しかし着実に運動をすすめる主人公 になる「学校給食プロジェクトチーム」を結成し、みんなで意見を出し合いながら給食カフェを基本に楽しく 交流し学習していく集まりを広げていく。
- Ⅰ ⑦ SNSの運用や拡散、ポスター作り、動画編集などチームメンバーの持つ仕事や趣味、特技を生かして、 デザイン部、拡散部、宣伝部などをつくり運動を拡げる。
- Ⅰ ⑧ 2 0 2 5 年に行われる北九州市会議員選挙に一大争点にしていく。

第2回学習会します! 10月7日(土)10時~11時30分 戸畑生涯学習センター

北九社保協通信

報告·資料集 2023年7月号 7月31日 事務局発行

「学校給食を考える学習会」に参加 給食の在り方について活発な討論

7月8日(土)に黒崎コムシテイ子どもの館に於いて「学校給食を考える学 習会(第1回)」が開催されました。呼びかけ人は市内中学生の保護者で 当日は、「学校調理員による現場からの報告」「市議による市の学校給食 の現状とこれまでの歩み」「学校給食の無償化を実現した自治体から学 んだこと」の報告をうけ意見交換をおこないました。会場には元教員や元 議員、民主団体をはじめ子供さん連れの保護者の方々も多く参加されて いました。食育法での地産・地消や無償化への運動も大切だが、学校給食



を食育としてとらえ質の向上も同時にすすめていくこと、そして今後は「学校給食を考える会」として正式に発足するこ とも合わせて確認をしました。参加された保護者の方からも熱心な発言があり充実した学習会となりました。

3年ぶりに「熱中症対策」について北九州市と懇談会実施



7月20日(木)に北九州市と熱中症対策について懇談会を行いました。これ は北九州健康友の会、健和会、北九社保協の3者で過去に毎年、実施して いたものでコロナ禍で中断していましたが今回、3年ぶりの開催となりました。 事前に質問・要望事項を申し入れ、その回答をうけて懇談に臨みました。健 康友の会をはじめ15名が参加し、懇談では各項目に対する回答の説明を担 当部局からそれぞれうけ意見交換を行いました。総じて行政側の前向きな取 組み姿勢はみえませんでしたが、参加者からは活発な発言があり「あんしん通

報システムの利便性向上」「チラシ等を活用した熱中症予防の積極的広報と啓発」「まちなか避暑地の再開」などをあ らためて要請しました。なお、気候変動適応法改正に伴い国の運用指針が発出されたのち2024年度施行に向け市と して具体的な検討をおこなっていく予定との報告もあり計画策定後に再度、懇談のお願いもおこないました。

猛暑の中 いかんよ貧困福岡・北九州の宣伝行動を黒崎駅前で

7月25日(火)に毎月、定例で市内各地で場所を変えながら実施している 「いかんよ貧困・福岡」北九州の宣伝行動を黒崎駅前で実施しました。当日 は生健会・年金者組合・北九社保協から 8 名が参加。厳しい暑さの中、人 通りも少なかったですが、マイクでの訴えに立ち止まって聞く方や話かけてく る方と対話で盛り上がりました。北九社保協からも「長引くコロナ禍や物価高 騰で生活が厳しい方はぜひ、ご相談を!」と「7.29 なんでも相談会」のビラを 配布し、宣伝をおこないました。猛暑の中、参加者の体調も考慮し今回は



暑い中参加した原告と支援者の皆さん

早目に切り上げましたが、充実した宣伝行動となりました。次回、8月はお休みをして9月は定例の第4火曜日9月26 日14時から小倉北区の旦過市場で行う予定です。宣伝行動へのご支援、よろしくお願いいたします。

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル3F

TEL 0 9 3 - 5 9 2 - 5 0 0 0 fax 0 9 3 - 5 7 1 - 4 3 4 6 http://siminnokai.sakura.ne.jp e-mail:koe@siminnokai.com

